

Artificial Body Crisis

かつて、全身義体は人間を人間以上に押し上げる叡智の結晶であり、市民たちの憧れの的であった。その認識が塗り替わった切欠となった論文を巡るエピソードが今、語られる。
(掲載日：2015.9.17)

プレアクト情報

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

ピーター (twitter : @himurozan)

▼プレイヤー人数

3～4人

▼想定プレイ時間

3～5時間

▼シナリオタグ

全身義体、DtoX、テクノロジー

●このシナリオについて

『TND』から『TNX』で大きく変わった時代設定のひとつ、「全身義体化の脳へのリスク」を取り扱ったシナリオだ。

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

30～60点

※クイックスタート使用時は敵を弱体化させること

▼達成値制限

なし。23程度の達成値を出せばクリアは可能。

▼スタイル制限

特になし

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。

今日が何の日かご存知ですか皆さん？

今では常識となった、とある論文が公表された日です。

「全身義体化における脳への負荷の危険性について」

端的に言えばこの論文が示すことは、全身義体化は寿命を縮める、ということです。これによって富裕層をはじめとした一般流通における全身義体市場は縮小しました。

今日はこの論文が世に出るに際して起きた事件、通称ABC事件について語ることとしましょう。

———新皇帝都大学にて

トーキョーNOVA THE ACCELERATION
『Artificial Body Crisis』

かくて運命の扉は開かれた。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、コンストラクションでのキャスト作成を推奨する。もしクイックスタートを利用する場合、以下のように選択すること。

『①トーキー』：遊撃記者（『TNX』p89）

『②カブト』：現代の騎士（『TNX』p90）

『③クグツ』：企業戦士（『TNX』p87）

『④イヌ』：正義の猟犬（『TNX』p85）

●クロニクルプレイ

本シナリオは通常のTNXの時間軸より少し前（シナリオ上重要なことではないので厳密には定義しない）の話となる。

●必要な神業

本シナリオでは、ゲストが使用する即死系神業だけでキャストが死亡するのを防ぐため、キャスト全員で2個以上の防御系神業を所持することを推奨する。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：企業〉〈社会：テクノロジー〉などである。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①トーキー』→『②カブト』→『③クグツ』→『④イヌ』

→『①トーキー』

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

- ①『トーキー』：フリーランスを想定している。
- ②『カブト』：ローラの友人である。
- ③『クグツ』：後方処理課第三班。
- ④『イヌ』：ブラックハウンド機動捜査課。

①推奨スタイル：トーキー

SCENARIO HANDOUT

コネ：アルフレッド・三代^{みしろ}

推奨スート：理性

折り入って依頼があるというアルフレッド・三代と会う約束をしていたあなたが、その場に現れたのは、見知らぬ女性だった。
彼女はアルフレッド・三代は昨日亡くなったため、この話のことは忘れるようにと冷たく言った。
破格の迷惑料を置いて去っていく彼女を見送りながら、あなたは特ダネと事件の気配を感じ取っていた。

【PS：アルフレッドの依頼を達成する】

②推奨スタイル：カブト

SCENARIO HANDOUT

コネ：ローラ

推奨スート：感情

あなたの友人ローラは、マネキンとして生計を立てている。
そのローラが、あなたの家に転がり込んできた。
どうやら懸念にしていた新皇帝都大学の教授が事故死したという事件で、身の危険を感じたからだという。
依頼料として差し出したキャッシュはなけなしの貯金だろう。
彼女は本気でおびえているし、力になってやることにしよう。

【PS：ローラを護る】

③推奨スタイル：クグツ

SCENARIO HANDOUT

コネ：小上 紫乃

推奨スート：外界

御剣に代表されるように軍用を中心に全身義体市場はイワサキが大きなシェアを占め、千早は大きく後れを取ってるといってよい。千早が現在シェアを維持する高級路線の全身義体に対してイワサキが何かを仕掛けつつもらしい。あなたの任務はこのイワサキの動きを阻止することだ。

【PS：イワサキの計画を阻止する】

④推奨スタイル：イヌ

SCENARIO HANDOUT

コネ：レイ

推奨スート：感情

新皇帝都大学の教授アルフレッド・三代が隅田川に浮かんだ。体からは大量のドラッグが検出され、事故死ということで処理されることになった。
だが、処理が決まるまでが早すぎる、まるで誰かが用意した筋書きをなぞっているかのような違和感を感じる。イヌとして勤めあなたがあなたに聞く、こいつはただの事故死なんかじゃない、と。あなたの考えを聞いたレイ課長は、しばらく時間を稼ぐから、その間好きに捜査しろとあなたに約束してくれた。なんとしてもこの事件の真相を暴いて見せる。

【PS：事件の真相を暴く】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

本シナリオは、『TNX』に記載されている「全身義体は寿命を縮める」という話が一般に流布するまでを扱ったシナリオである。

新皇帝都大学のサイバネティクスの教授アルフレッド・三代がひとつの論文を作り上げる。

「全身義体化における脳への負荷の危険性について」端的に言えば全身義体は寿命を縮めるというものだ。

全身義体化社会構想を唱えるサイバネティクス科の主任教授のマクラーレンと、それを利用し義体市場でのシェア拡大を狙うイワサキは論文の採み消しを行う。論文を白日の下にさらすべく、『①トーキー』と接触を図ろうとするアルフレッドだが、その動きをイワサキ御庭番衆、藤林 凜に感づかれた彼は約束の場所に現れることはなく、死体として見つかる。

アルフレッドの死体からは大量のドラッグが検出され、事故として処理されることが決定する。だが、それに疑いを持った『④イス』はレイの手引きで捜査を開始する。

一方でアルフレッドが極度の健康志向者（ヘルスジャンキー）であり大のドラッグ嫌いであったことを知るローラは身の危険を感じ『②カブト』の下に転がり込んでくる。

また、イワサキの動きを察知した千早は『③クグツ』を派遣し、計画の妨害を試みる。

イワサキはアルフレッドが『①トーキー』に渡すために持ち出した論文のデータが入ったデータクリスがないことに気づく。実はデータクリスは『①トーキー』と会う前にアルフレッドがローラの元に行ったときに偶然、忘れてしまっていたのだ。そしてこの“忘れ物”を巡り、やがてローラの元へもイワサキ御庭番衆が現れることになる。

本シナリオはイワサキの妨害を排除し、アルフレッドの論文を白日の下に晒すことで終了となる。

■クライマックスの条件

「●リサーチ6：誘い」で提示されるレッドエリアの廃倉庫に向かうとクライマックスとなる。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：2人の別れ

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：他のPC登場不可

◆解説

凜がアルフレッドを殺害するシーン。

◆描写

男が何かを決意したような顔で歩いている。

だが、ふと辺りを見回すと人気がないことに気づく。そして一人の女性が影から溶けだすように現れる。

▼セリフ：男（アルフレッド）と女（凜）の会話

「き、君は……どうしてこんなところに。まさか忠告に来たのかい？」

「予定表を見ました。『①トーキー』さんにお会いになるつもりの方ですね。考え直す気はありませんか？」

「僕は……この論文を必ず世に出すつもりだ。そこは譲れない。これが僕の生き様なんだ。」

「（雰囲気が一変してカゲ◎となる）まあそうだろうな。私もお前のそういうところは嫌いではない。……だが、だからここで死ぬ。」

「な、何をする！！」

◆結末

凜は、アルフレッドを（水通で）殺害する。

シーンは終了となる。

No Image

■アルフレッド・三代

エキストラ

▼設定

「僕はこの論文を発表するんだ。」

30歳ほどの痩せぎすで神経質そうな男性。新皇帝都大学の工学部サイバネティクス科の教授。義体化による脳への負荷に関する論文をまとめあげる。

論文をマクラーレンに握りつぶされ、発表の場を求めて『①トーキー』に接触しようとするが、藤林 凜に察知され殺害される。

健康のためなら死んでもいい、という健康偏執者（ヘルスジャンキー）。

ローラとの付き合いも適度な男女の性交渉は健康に良いという理由からである。

理屈っぽいが、正義感の強い人物である。

またその忘れっぽさが死後もキャストやゲストを振り回すことになる。

●オープニング2：始まる前に終わった依頼

シーンプレイヤー：『①トーキー』

登場：不可

◆解説

『①トーキー』がアルフレッド・三代との約束の場所で凜に手を引くように言われるシーン。

◆描写

『①トーキー』は知り合いから紹介されたアルフレッド・三代を待っている。
(知り合いは懇意にしているメディア関係者やフィクサーでよいだろう)

約束の時間までもう少し。

そう思ったところで、スーツ姿の一人の女性（正体は藤林凜である。また〈無面目〉でエキストラに見える）が現れる。

▼セリフ：藤宮（凜）

「『①トーキー』さん、ですね？」

「アルフレッド・三代の代理の藤宮です。」

「まだお耳に入っておられないかもしれませんが、アルフレッドは昨日亡くなりました。」

こちらも実はアルフレッドが何を依頼しようとしていたかは存じません。

こうなってしまった以上”この依頼はなかったこと”ということでお願いします。」

「こちらをお時間を取らせました迷惑料と違約金ということでお納めください（1ゴールドを差し出す）。」

「では、私はこれで」

◆結末

藤宮は一方向的に『①トーキー』に1ゴールドを渡し、席を立てて去る。

ふと『①トーキー』が公衆DAKに目をやると、ちょうどアルフレッドの事故死のニュースが流れ始めたところだった。『①トーキー』がリアクションを返したらシーン終了。

●オープニング3：不自然に自然な事故死

シーンプレイヤー：『④イヌ』

登場：不可

◆解説

『④イヌ』が捜査に乗り出すシーンである。

◆描写

『④イヌ』は課長のレイと共に鑑識からの報告を聞いている。鑑識の調査によれば死体からは大量のドラッグの成分が検出され、事故死という結論に達する。だが『④イヌ』の勘はこの事件は、ただの事故死ではないと感じる。（*1）

▼セリフ：鑑識

「ガイシャの身元は、アルフレッド・三代、新皇帝都大学のタタラですね。」

「体からは大量のドラッグの成分が検出されました。死因も溺死、とくに不審な点はありません。ヤクを大量にやって足を滑らせて墨田川におちてそのまま……で感じでしょうね。事故死でしょう。」

▼レイ

「だによ。なんだ、納得できねーって顔してるな。」

「うし、じゃあこっちである程度時間を稼いでやる。」

その隙に捜査して来い。」

「長くはもたねーからな。ちゃっちゃと真相暴いて来い！！」

◆結末

調査費用として3シルバーを受け取り捜査を開始したらシーン終了となる。

●オープニング4：ローラのお願ひ！

シーンプレイヤー：『②カブト』

登場：不可

◆解説

『②カブト』の家にローラが転がり込んでくる。

◆描写1

『②カブト』の事務所の扉が乱暴に開かれる。

涙目のローラが『②カブト』の胸に飛び込んでくる。なんとか落ち着かせるとローラはアルフレッドという客の話を始める。

聞き覚えがある名前だ。

そう確か朝刊に名前が載っていたような。

▼セリフ：ローラ

「助けて、『②カブト』のお兄さん（お姉さん）！！」

「私、殺されるかもしれないの！！！」

「アルフレッドって新皇帝都大学のタタラが死んだのは知ってる？ 私のお客さんだったんだけど……」

「ドラッグのオーバードーズで隅田川に転落したなんてニュースでは言ってるわ。でもそんなはずはないの！！アルフレッドは理屈っぽいけど正義感の強い人で……そうじゃないや、彼は大量のドラッグ嫌いのよ。」

ヘルスジャンキー健康偏執者なのよ、健康のためなら死んでいいって人なの。私を買ったのだから、『男女の適度な性交渉は健康にいい』とかそんな理由だったぐらいなのよ！！」

「だから、絶対殺されたのよ！！私を守って『②カブト』のお兄さん（お姉さん）！！」

「お、お金なら払うわ、そのぐらいの蓄えぐらいはあるもの。高給取りなのよ？ 私、な、なんなら体で払ってもいいわよ。」

◆結末

ローラは『②カブト』に前金として1ゴールドを支払ってくれる。

もちろん『②カブト』が体で支払うことを望んだ場合は別だが。

いずれにせよローラの依頼を受ければシーン終了。

（*1）捜査を願ひ出る

もしかすると『④イヌ』はこの導入がイメージに合わないキャストであるかもしれない。

その場合は、レイの方から捜査を続行するように命令するなどするとよい。

●オープニング5：イワサキを妨害せよ

シーンプレイヤー：『③クグツ』

登場：不可

◆解説

小上紫乃に呼び出されて仕事の依頼を受けるシーン。

◆描写

▼セリフ：小上紫乃

「よく来てくれました『③クグツ』。」

「全身義体のシェアについては我が社がイワサキの後塵を拝しているのはご存知ですね？」

「イワサキはその優位を盤石にすべく全身義体市場に対して何らかのアクションを起こそうとしているようです。」

「この動きを阻止してください。」

◆結末

『③クグツ』の口座には必要経費として3シルバーが振り込まれる。

No Image

ローラ
エキストラ

▼設定

「助けて、『②カプト』のお兄さん（お姉さん）!!!」

本アクトのヒロイン。

『②カプト』の友人。ウェットシティでマネキンとして生計を立てている。

あまり物事を深く考えないタイプだが、勘は鋭い。

おしゃべりな20代前後の女性。

アルフレッドのとある“忘れ物”によって事件の渦中に巻き込まれていく。

アルフレッドの理屈っぽいところは苦手だが、正義感の強いところは気に入っていた。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●リサーチ1：アルフレッド・三代の研究室

条件：アルフレッド・三代の研究室に行った
シーンプレイヤー：『④イヌ』（いない場合は適当なキャスト）

登場：〈社会：企業〉10 / SR：ホワイト

◆解説

アルフレッド・三代の研究室を家探しするシーン。
『④イヌ』が訪ねる場合は藤宮が案内してくれる。
ここで藤宮に質問すれば「●リサーチ2：藤宮の証言」の内容を話してくれる。

◆描写

サイバネティクス科の研究棟は、警備が強化されており許可証がないものは立ち入れなくなっているようだ。

サイバネティクス科の研究棟の奥にアルフレッドの研究室があった。

▼セリフ：藤宮

「ここがアルフレッドの研究室です。」
「研究棟に賊が入ったときに、一部論文などのデータが消されてしまったようです。」
「（ホロを見つけた）これは……懐かしいですね。私が研究室に来てからまだ間もない頃の物ですね。」

◆処理

このシーンに登場したキャストは警備員などから侵入者があったという話が聞ける。以降、【研究棟の侵入者】という情報項目が調査可能になる。

▼『④イヌ』以外が訪ねた場合

侵入者があったため警備が強化されている。
具体的に登場時に〈隠密〉〈交渉〉〈信用〉のいずれかで目標値12の判定を行うこと。

失敗した場合、即座に退場し、以降そのシーン中は登場できなくなる。

この判定は藤宮の協力を得ている場合は必要ない。

▼『①トーキー』等が藤宮を呼び出そうとした場合

〈交渉〉〈信用〉のいずれかで目標値15の判定を行うこと。

成功すれば藤宮は呼び出しに応じて登場する。

▼家探しする場合

〈知覚〉か〈電脳〉で目標値15の判定を行うこと。
判定に成功すると、他の被害に遭った研究は虫食いでデータが削除されているのに対して、アルフレッドの研究データとはある時期の部分だけが綺麗に削除されているように気づく。

【新しい論文】について調査済みならば、それが新しい論文に関する箇所だということが分かる。以降【新しい論文】に関して調査しても同様のことが分かる。

また、研究データの消失により論文を証明するもの

が存在しないため《暴露》しても意味がないものとする（与太話扱いされ世界が変わることがない。*2）

それらとは別に藤宮（凜）とアルフレッドが仲好さそうに写っているホロを見つめる。【アルフレッドと藤宮のホロ】について調査可能になる。

◆結末

研究室の家探しが終わればシーンは終了となる。

●リサーチ2：藤宮の証言

条件：藤宮のアドレスを入手し会いに行った

シーンプレイヤー：会いに行ったキャスト

登場：〈社会：ストリート〉10 / SR：イエロー

◆解説

藤宮から話を聞くシーン。

リサーチ1：アルフレッド・三代の研究室で藤宮を呼び出した場合も同様の内容が質問できる。

最後に藤宮は協力を申し出てくる。（*3）

◆描写

新皇帝都大学を休暇中の藤宮をやっと捉えた。

物陰から様子を伺っていると、どうやらこちらに気づいたようで声を上げる。

▼セリフ：藤宮

「誰かいるんですか？」
「『①トーキー』が居る）あなたですか……何の御用でしょう？」
「（アルフレッドについて聞いた）よくはして頂いてましたが、特に仕事以上の関係ではありませんよ。」
「（ホロを見せた）懐かしい物を……ところでこれが何か？」

「（アルフレッドの依頼をなかったことにした件について聞いた）全てマクラーレン教授の指示です。私には意図は分かりかねます。」

「（新しい論文について聞いた）マクラーレン教授とアルフレッドが言い争っているのは聞きました。ただ……論文の方は研究データも含めて、賊が侵入したときに消えてしまったと聞いています。」

「（一通り話が終わった）……もしよろしければ、私も手伝わせていただけませんか？」

◆処理

もし藤宮の協力の申し出を受けるなら、登場しているキャストはコネ：藤宮を好きなスートで1レベルで得る。〈コネ：藤宮〉での情報収集は達成値に+2のボーナスがつく。

申し出を受けない場合は特に何もない。

◆結末

藤宮との会話が終わればシーンは終了となる。

（*2）世界は変わらない

研究データを含む論文全文がないと《暴露》は意味がない、ということは『①トーキー』が論文全文を手に入れる前に《暴露》をしようとしたときに伝えてしまっただけ。

（*3）藤宮の正体について

《真実》を使用されたなどして、リサーチ4：パンドラの箱の前に正体が暴かれることもあるだろう。その場合は藤宮つまり凜は《不可知》を使用し一時撤退する。

この場合クライマックスでは御剣・式は《万能道具》をさらにもう1発凜の《不可知》に使用するようにすること。

また、退場を妨害された場合は即座に戦闘となる。
倒された場合は舞台裏で〈忠義者〉からの《完全偽装》で蘇生する。

この場合はリサーチ4：パンドラの箱に彼女は登場しない。

●リサーチ3：ローラの思い出

条件：【イワサキ御庭番衆の探している物】を調査後。

シーンプレイヤー：『②カブト』

登場：場所による／SR：場所による

◆解説

ローラからアルフレッドが死亡した日のことを聞き出すシーン。

基本的にはカブトの事務所を想定している。

ローラの回想からはじまる。

◆描写1

少し辛そうな表情でローラは事件当日のことを話し出す。

あの日いつものように、ウェットシティでアルフレッドの相手をして、そして……

▼セリフ：ローラ

「どしたの、アルフレッドさん。顔色悪いよビョーキ？」
「アルフレッドさん、また難しいことばかり言っている。楽にしたほうがいいよ？」

▼セリフ：アルフレッド

「いや、ちょっと明日のことを考えると緊張してね。」
「ローラさん、僕はね。【マクラーレン】教授には感謝しているんだ。いろいろとよくしてもらった。でも教授は【全身義体化社会構想】の権化になってしまった。けれどそれは人類全体の寿命を縮めるようなことなんだ。」

「そうかもしれない。聞いてもらってちょっと勇気が出たよ、ありがとう」

◆描写2

話し終わるとローラは悲しげに、バッグから記憶素子を取り出す。

▼セリフ：ローラ

「これ、アルフレッドさんの忘れ物なの。よく忘れるのよ、あの人。」

「大事そうなものだから早く渡さなきゃって思ったんだけど、次の日にはSSSが来てアルフレッドさん死んじゃったって言われて（泣き始める）。」

「（しばらくしてから）ごめんなさい。これ役に立つかしら？」

◆処理

【記憶素子】について調査可能となる。

◆結末

ローラの話がひと段落したらシーン終了となる。

●リサーチ4：パンドラの箱

条件：パスコードを記憶素子に入力した

シーンプレイヤー：『①トーキー』

登場：場所による／SR：場所による

◆解説

パスコードを入力するシーン。

凜が現れ（もしくは正体を明かして）、記憶素子を奪い取ろうと襲い掛かってくる。

◆描写

記憶素子にパスコードを入力すると中身は大量のデータと文章である。

専門家に精査してもらわないと分からないがおそらくアルフレッドの研究論文の全文に違いない。

（藤宮の協力を得ている）その場に同行した藤宮が記憶素子を渡すように言う。

（藤宮の協力を得ていない）だがそこに藤宮……いや藤林 凜が現れる。

▼セリフ：ローラ

「もしかして、これがロンブンってやつ？ これがあればアルフレッドは報われる？ やった！！」

▼藤宮

「これは、研究室で詳しく確認しないと分かりませんが、本物、のようです。」

「こちらに渡していただけますか？ 悪いようにはしません。」

「（断られた）そうですか……では、仕方あるまいな（正体を表す）」

▼凜

「そこまでだ。」

「奴め、忘れっぽいやつだったが、とんだ”忘れ物”を残していったものだ。」

「私、いや、藤宮とアルフレッドの思い出、か……ん。」

「それは貴様らにとってはパンドラの箱だ。開ければ絶望しかないぞ？おとなしく渡せ。そうすれば、見逃してやってもいい。（*4）」

「（拒否した）まあそうだろうな、かかれ。」

「（倒した）……くっ、これほどまでとは」

◆処理

パスコード入力時に、キャストには【SPS：アルフレッドの論文を公表する】（経験点：2点）を与える。

藤宮の協力を得ているなら藤宮はキャストに藤宮に記憶素子を渡すように言う。これを拒否した（*5）場合正体を現し、その後、凜としての会話が発生する。

いずれにせよキャストが凜に記憶素子を渡すことを拒否した場合、カット進行となる。

なお、凜に記憶素子を渡した場合、シナリオは終了する。イワサキは義体市場のシェアを伸ばし、論文は闇に葬られることだろう。

また、このシーン終了時に〈コネ：藤宮〉は全て失われる。

（*4）見逃してやってもいい

凜は本気で言っている。

本気で言っているが、キャストたち（特に『③クグツ』）が渡すとは微塵も思っていない。

（*5）拒否した

それ以外にも、神業などを用いて論文データのバックアップを取るなどの行動をとった場合、要するに論文を闇に葬るのに都合の悪い行動をした場合は同様に凜は正体を現して襲い掛かってくる。

また《暴露》などで公表しようとした場合、ゲスト側は打ち消す用意があることをキャストには伝えること。

◆カット進行

キャストは1エンゲージ

敵は藤林 凛とイワサキ御庭番衆（20人）が近距離に1エンゲージ。

それとは別の近距離エンゲージに、イワサキ御庭番衆（20人）×2。

さらに藤宮の協力の申し出を受けている場合、イワサキ御庭番衆（20人）×2が近距離に1エンゲージ出現する

敵を全滅させれば終了となる。

この戦闘では凛は神業は使用しない。

◆結末

カット進行が終了すればシーンは終了となる。

●リサーチ5：凛として再び

条件：「●リサーチ4：パンドラの箱」の直後

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

凛がローラを誘拐するシーン。

◆描写

論文を報道すべく放送局（*6）に向かったキャストたちを見送ったローラ（*7）の前に凛が姿を現す。

▼セリフ：凛

「（※〈忠義者〉からの《完全偽装》で蘇生する）……手ぶらで帰るわけにもいかないのぞな。悪いが、私と来てもらう。」

▼セリフ：ローラ

「た、助けて『@カブト』のお兄さん（お姉さん）！！」

◆処理

凛が《不可知^{インセンサブル}》を使用しローラを攫い姿を消す。

◆結末

凛がローラを抱えてストリートの闇へと姿を消してシーン終了。

●リサーチ6：誘い

条件：「●リサーチ5：凛として再び」の直後

シーンプレイヤー：「@カブト」

登場：〈社会：ストリート〉10 / SR：イエロー

◆解説

キャストのもとに凛からローラを人質に取ったことが伝えられるシーン。

◆描写

次なる邪魔が入る前に放送局へ向かうキャストたち。そこに「@カブト」のポケットロンに連絡がある。

名前はローラだが、ポケットロンの向こうから聞こえてくるのは凛の声だ。

▼セリフ：凛

「私だ。……この意味は分かるな？」

「場所を指定する、記憶素子を持ってそこに来い。さもなくば……この女は殺す。」

「（ローラの声の聞こえろと云った）……分かった。（部下に）連れてこい。」

「（ローラとの会話が終わった）気は済んだか？ 待っているぞ。」

▼セリフ：ローラ

「だめよ、来ちゃ！！ 殺されちゃうわ！！ それに……その記憶素子がないとアルフレッドの決意は無駄になっちゃうじゃない！！ だから……ダメよ。」

◆処理

会話終了後SPS：ローラを救う（3点）をキャストたちに与えること。

またこのシーン以降【藤林 凛の動向】、【オーウェン・マクラーレンの動向】が調査可能になる。

◆結末

キャストたちが凛の待つレッドエリアの廃倉庫に向かうとクライマックスとなる（*8）。

●リサーチ7：失脚

条件：マクラーレンに《制裁^{パンチ}》などを使用して地位を失わせた

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

マクラーレンがキャストへの怒りを見せ、戦闘用義体を持ち出すシーン。

◆描写

マクラーレンがポケットロンに向かって大声で怒鳴っている。

しばらくするとマクラーレンは膝をつき、その後、肩を震わせて立ち上がり、研究室に隠されていた見るからに軍用の義体を取り出す。

▼セリフ：マクラーレン

「私は、私はこんなところで終わるわけにはいかんのです。」

「あなたのお力で何卒！！ 何卒！！」

「（通話を切られて）ま、待ってください！！」

「おのれ、おのれ、私の邪魔をしておてゴミどもめえ！！ 許さんぞ、私を本気にさせたこと後悔させてやるう！！」

◆処理

マクラーレンがクライマックスに参加するようになり、マクラーレンが用意するはずだった戦力は登場しなくなる。

◆結末

マクラーレンが義体を換装したらシーン終了

（*6）放送局に向かった

イワサキの妨害をかくぐつて《暴露》を使用するには専用の機材が必要である。このため、どこかの放送局に向かわなければならない、とする。

千早の協力を得られているならCNNが妥当だろう。

またニューロエイジの最大手であるヘルメスネットワークも北米系企業であり、イワサキの息がかかっていないはずだ。

逆にマリオネットは日系企業であるため若干危険である。ということもPLには伝えること。

ただ、これらの情報は単にキャストが知っている常識であり、メタ的にはこのメディアの協力を受けても特に神業を使用する際に制限があったりはしない。

（*7）見送った

ローラはキャストを送り出そうとするが、キャストがそれを受け入れないこともあるだろう（特に「@カブト」）。その場合は、ローラがトイレなどに行くとキャストが少し目を離れた隙の出来事、ということになると良い。

なお《完全偽装》などにより彼女の居場所が隠されている場合は、マクラーレンが《タイムリー》を使用してそれを打ち消す。なお、打ち消された神業は経験点計算時にはうまく使った、として扱うとよいだろう。

（*8）廃倉庫に向かう

もしもローラの言葉を聞き入れて《暴露》を決行する場合は、マクラーレンらは神業を全て使用して《暴露》を打ち消していく。それらをかいくぐり、《暴露》が打ち消されなかった場合、イワサキはこれ以上の妨害をあきらめてエンディングとなる。なおローラは当然が死亡する。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報項目は以下のとおり。

『①トーキー』：アルフレッド・三代、アルフレッド・三代の死、藤宮

『②カブト』：アルフレッド・三代、アルフレッド・三代の死、ローラ

『③クグツ』：イワサキの動向

『④イヌ』：アルフレッド・三代、アルフレッド・三代の死

◆アルフレッド・三代

〈社会：メディア、企業、テクノロジー〉

〈コネ：アルフレッド、藤宮〉

- 10 【新皇帝都大学】の教授。専門はサイバネティクス、特に全身義体について研究している。ドラッグの大量摂取により事故死した。
- 16 【新しい論文】の件で主任教授の【オーウェン・マクラレン】と対立していたようだ。
- 18 その件で『①トーキー』に接触しようとしていたようだ。【アルフレッドの依頼】について調査可能になる。

◆アルフレッド・三代の死

〈社会：警察、メディア〉〈コネ：アルフレッド、藤宮〉

- 8 ドラッグの大量摂取による事故死とされている。SSSは既に捜査を切り上げている。
- 12 ブラックハウンドは事件性を疑っているのか『④イヌ』が調査を続けている。
- 16 死の直前に、【ローラ】というマネキンと会っていた。
- 18 アルフレッド・三代は健康のためなら死んでもいい、というような健康偏執者であり、大のドラッグ嫌いであった。そのため、ドラッグのオーバードーズによる事故死、というのは考えにくい。事件には作弄的なものを感じる。

◆藤宮

〈社会：企業、テクノロジー〉〈コネ：アルフレッド、藤宮〉

- 8 イワサキから派遣されている【オーウェン・マクラレン】の助手。エキストラ。
- 12 アルフレッド・三代の代理人として『①トーキー』に会いに行った。
- 14 アドレスを入手する。彼女はアルフレッド・三代と親しくしていたようでその死に心を痛めているようだ。会えば助力が得られるかもしれない。

◆ローラ

〈社会：ストリート、警察〉

〈コネ：ローラ、『②カブト』〉

- 8 ウェットシティのマネキン。
- 13 アルフレッド・三代と懇意にしており事故死の直前にも会っていた。そのためSSSの聴取を受けたが、それ以来姿をくらましている。
- 15 現在は『②カブト』の下に転がり込んでいる。『②カブト』のアドレスを得る。

◆イワサキの動向

〈社会：企業、テクノロジー〉

- 12 全身義体の一般層から富裕層向けの一大キャンペーンを計画中らしい。
既に各方面への根回しは終わっており、千早のシェアが奪われることは確実だ。
これに対して千早は『③クグツ』に計画の妨害を命じたようだ。
- 15 【新皇帝都大学】の教授である【オーウェン・マクラレン】とたびたび接触している。彼の研究をなんらかの形で利用するつもりだろう。

◆新皇帝都大学

〈社会：企業、テクノロジー、警察〉

〈コネ：アルフレッド、藤宮〉

- 5 基本的な情報が手に入る。『TNX』p042 参照。
- 8 校内案内を入手する。アルフレッドの研究室のアドレスを入手。
- 13 最近、サイバネティクス科の研究棟に賊が入ったらしく警備が厳重になっている。
部外者が新皇帝都大学に入るのは難しいだろう。具体的には、新皇帝都大学に登場時、〈隠密〉〈交渉〉〈信用〉のいずれかで目標値12の判定を行い、失敗した場合、即座に退場し、以降そのシーン中は登場できなくなる。
また【研究棟の侵入者】が調査可能となる。

◆研究棟の侵入者

〈社会：警察〉〈社会：企業〉

- 14 侵入したのはイワサキ御庭番衆である。
その手際から内部から手引きしたものがいるように思える。
【イワサキ御庭番衆の動向】が調査可能になる。

◆イワサキ御庭番衆の動向

〈社会：ストリート〉〈社会：企業〉

- 15 現在はN○V A全域で何かを探しているようだ。
【イワサキ御庭番衆が探している物】を調査可能となる。
- 18 イワサキにとって不都合な事実を公表しようとしていた【アルフレッド・三代】を殺害した。手を下したのは【藤林 凜】である。

◆新しい論文（*9）

〈社会：企業、テクノロジー〉〈コネ：アルフレッド、藤宮〉

- 15 題名は「全身義体化における脳への負荷の危険性について」。
端的に言うと、全身義体化すると脳への負荷が大きく寿命が縮むというような内容。
これは【オーウェン・マクラレーン】の推進する【全身義体化社会構想】を根底から覆すものだ。
これが大々的に発表されれば現在大きなシェアを占めるファッション感覚で全身義体を使っている層の客は離れていくだろう。
- 18 このため、マクラレーンはこの論文の発表を差し控えた。
マクラレーンの《買収》により通常的手段ではこの論文が世に出ることはない。

◆アルフレッドの依頼

〈社会：企業、テクノロジー〉〈心理〉

〈コネ：アルフレッド、藤宮〉

- 12 アルフレッドは論文をオーウェン・マクラレーンに握りつぶされ、それを発表する場所を求め『①トーキー』に接触し公開しようと考えていたようだ。
- 18 『①トーキー』に渡すために論文の全文が入った記憶素子を持ち出したのが新皇帝大学の記録に残っている。だが、彼の死体からはそれらしきものは発見されなかった。

◆オーウェン・マクラレーン

〈社会：企業、テクノロジー、メディア〉〈コネ：藤宮〉

- 8 【新皇帝大学】のサイバネティクス科の主任教授。【全身義体化社会構想】を推進しており多くの公演を行っている。
本人も全身義体に入っている。
- 15 【アルフレッド・三代】とは【新しい論文】の件で衝突があったらしい。
また現在は面会をすべて断っているため会うことはできない。
- 18 全身義体化社会構想を推し進めるためなら手段

は選ばないつもりらしく、イワサキの計画に加担している。【イワサキの動向】について調査可能となる。

（この情報を知ったものはオーウェンからの社会戦を受ける）

◆全身義体化社会構想

〈社会：メディア、テクノロジー〉

〈コネ：アルフレッド、藤宮〉

- 8 全人類を全身義体化することで人類全体をポストヒューマン、つまり新人類となることを目的とした構想。主に【オーウェン・マクラレーン】が提唱している。
- 18 これに目を付けたイワサキが全身義体化社会構想を推進するための法案を通し、その利権と全身義体のシェアを独占しようとしている。

◆藤林 凜

〈社会：ストリート〉〈社会：企業〉

- 15 イワサキ御庭番衆の藤林衆の一人。暗殺を得意とし水遁の術を操るニンジャ。
社命とあらば命をかけることをいとわない〈忠義者〉である。

◆記憶素子

〈電腦〉〈社会：テクノロジー〉〈社会：企業〉

- 8 暗号化されており生体認証か【パスコード】が無ければ開くことができない。
- 15 備品番号などからアルフレッドが新皇帝大学から持ち出した記憶素子に間違いはない。

◆パスコード

〈コネ：アルフレッド、ローラ〉

〈ローラに対しての〉〈交渉〉

- 7 忘れっぽいところのあるアルフレッドはパスコードのような大事なものは研究室にある大切な場所に隠して出かけるようにしているらしい。
- 10 研究室にずっとあるアルフレッドの私物はホロフレーム（ホロ用の写真立て）ぐらいである。

◆アルフレッドと藤宮のホロ

〈知覚〉〈電腦〉〈芸術：アレンジ〉〈製作：ツール〉

〈コネ：藤宮〉

- 8 少し恥ずかしげな【藤宮】とにこやかな笑顔のアルフレッドが写っている。とはいえそれ以外には特に何の変哲もないホロに見える。
- 14 ホロをセットしてあるホロフレームに暗所である角度で光を当てると文字が浮かび上がるような仕掛けが施してある。パスコードを入手する。

（*9）新しい論文と千早に関して

この論文が発表されれば、当然だが千早も打撃を受ける。だが、イワサキの一人勝ちを放置するわけにもいかない以上、千早にとっては論文の公表は行うべきである。

小上紫乃に報告した場合、イワサキへ与えるダメージの大きさとこの論文の存在を前提とした対応（工場のラインをファクション義体中心から低所得者向けの安価な戦闘義体中心にするなど）が間に合うだろうという計算から、イワサキの妨害を優先するように『③クグツ』に命令する。その際には千早側の準備期間として発表を1、2日ほどずらしてくれるように『①トーキー』と交渉するように言う。要求を呑む場合は、代わりにCNN（千早の大手メディア系企業）で大きく取り上げられることを約束してくれる。

なお、《完全偽装》などで千早の義体だけは安全、などと喧伝することは新たな火種になりかねないため小上紫乃は止めるように忠告する。

◆藤林 凛の動向

〈社会：ストリート、企業〉

- 17 キャストたちに敗北したことで本社から新型義体【御剣・弑式】の使用許可を得ている。

◆オーウェン・マクラレンの動向

〈社会：テクノロジー、企業〉

- 15 自ら手を下すつもりはない。クライマックスでは神業のみ使用する。
引きずり出すには《制裁》などで現在の地位を失わせる必要がある。なお、それらの神業を打ち消すことはない。
キャストたちの存在を知り、イワサキ本社にかけあってさらなる増援を要請している。マクラレンの地位が盤石ならばイワサキ本社から増援が来るだろう。
具体的には敵に非合法工作員（『CTL』p.121）とイワサキ情報処理局（『ITOS』p.144）が追加される。
（ただしP Cが3人の時はクライマックスには参加せず神業も使用しない。）

◆御剣・弑式

〈社会：テクノロジー、企業〉〈製作：サイバーウェア〉

- 14 御剣の後継機として開発された新型軍用義体。自己判断能力を持った高度なバディ制御機能を持つ。クロガネ◎。
データ的には”本体”が御剣のフォルム：サイバーウェア。
藤林凛のみ”本体”を使用できる。

◆イワサキ御庭番衆が探しているもの

〈社会：企業、ストリート〉〈心理〉〈コネ：アルフレッド〉

- 12 アルフレッドが『①トーキー』に渡そうとしていた記憶素子データクリスを探している。
18 アルフレッドが記憶素子データクリスを持ち出して寄った場所はウェットシティだけであり、会った人物はローラしかいない。アルフレッドが持っていないなら彼女が持っている可能性が高い。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●愚か者への賛歌

◆解説

凜達との決着をつけるシーン。

◆描写

指定された場所はレッドエリアの廃倉庫である。

凜とイワサキ御庭番衆、そして縛られて体の自由を奪われたローラ。

（居るならば）さらに軍用義体を身にまとったマクラレンが居る。

▼セリフ：ローラ

「バカバカ、どうして来たの！！このオタンチン！！」
「……ありがとう。」

▼セリフ：凜

「のこのこと現れたか……愚か者め、だが褒めてやろう。ローラとやらは解放してやる。……貴様らが死んだ後にな。ここに来た以上は覚悟はしているだろう？」
「『①トーキー』に）好奇心は猫を殺す。勉強になったな、来世で生かすといい。」

「行くぞ、御剣・弑式」

「（キャストが罠にかかった）いくつかトラップは用意させてもらった。命が惜しくば動かないことだな。」
「（倒された）ここで……か、ふっ、私にはふさわしい死に様かもな」

▼セリフ：御剣・弑式

「（凜の目が光る）キューピン」

「了解です。マスター。」

「（倒された）機能停止。」

▼セリフ：マクラレン

「貴様ら、絶対に許さんぞ、この最新式の義体の餌食にしてくれるわ！！」

「（倒された）馬鹿な……この私が！！そんな馬鹿な！！」

◆カット進行

敵は藤林 凜、御剣・弑式、イワサキ御庭番衆（20人）×2が1エンゲージで近距離。

イワサキ御庭番衆（20人）×2が1エンゲージで近距離。

（マクラレンが居るならば）マクラレンが1エンゲージで中距離。

（マクラレンが居ないならば）非合法工作員、イワサキ情報処理局（20人）×2が近距離に出現する。

ただし、キャストが3名のときはマクラレンは登場せず、神業も使用しない。

また廃倉庫には罠が仕掛けである。罠はキャストが移動する度に起動する。

罠は〈射撃〉15の射撃攻撃として扱い、命中すればI + 15 + 山札一枚のダメージを与える。キャストがメジャーアクションで〈知覚〉か〈電脳〉で目標値15の判定に成功すると、罠を見つけることができ、以降キャスト全員が罠の効果を受けなくなる。もちろん適切と思われる神業を使用することでも罠を無効化できる。

◆結末

凜達を倒すとエンディングとなる。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

想定は以下の通りである。

- ・『①トーキー』は《暴露》によってアルフレッドの悲願が達成されたことでローラにお礼を言われる。
 - ・『②カブト』はローラにお礼を言われる。
 - ・『③クグツ』は小上紫乃にねぎらいの言葉をかけられる。
 - ・『④イヌ』はレイにねぎらいの言葉をかけられる。
 - ・最後はアクトトレーラーを語っていた講師が締め。
- 講師が何者か、については本アクトでは語られることはない。

■ 藤林 凛

クグツ○、カゲ=カゲ●

▼設定

「だから、ここで死ぬ」

イワサキ御庭番衆の一人。

アルフレッドの論文を闇に葬ろうとするクノイチ。イワサキ御庭番衆としては甘い人間であり、アルフレッドにも情が移っていた。そのために部下ではなく、自ら手を下しに行っている。ただし、社命とあればそのアルフレッドを手にかけることができる人間でもある。不器用な女である。

▼神業

完全偽装■ 不可知■ 不可知□

▼能力値

理性：9 / 13 感情：0 / 14

生命：7 / 13 外界：5 / 8

CS：11 (AR：1)

▼防御力 (S/P/I)

5(8) / 4(6) / 7(12)

▼技能

知覚	2 ♠♥◇
★回避	2 ♠♥◇
★白兵	4 ♠♥◇
運動	4 ♠♥◇
隠密	4 ♠♥◇
★自我	4 ♠♥◇
※忠誠	4 ♠♥◇
※忠義者	1 ♠♥◇
※パンザイ	4 ♠♥◇
※忍術	1 ♠♥◇
※ベイルアウト	2 ♠♥◇
※無面目	4 ♠♥◇
※必殺絶技	3 ♠♥◇
※元力：水雲 (正)	3 ♠♥◇
※空蟬	2 ♠♥◇
※死の長き手	4 ♠♥◇
※目眩まし	4 ♠♥◇

▼アウトフィット

・隠牙×2.....隠：17/電：11
S+4/1。投射可能。5回まで投射しても失わない。

・面頬.....隠：-/電：16
防 (3 / 2 / 2)。与える肉体・精神ダメージ+2。
・闇夜.....隠：-/電：13
レーザー武器のダメージ10点軽減
・忍装束 (聖戦法衣).....隠：13/電：18
精神ダメージ常に3点軽減
・兵者.....隠：10/電：制
物理攻撃のダメージ+2。
・疾考.....隠：15/電：15
CSベース+3。
・壁心.....隠：16/電：16
受ける精神ダメージ-4。
・元力札.....隠：15/電：12
元力を組み合わせた攻撃ダメージ+1。

▼戦闘プラン

セットアップで〈目眩まし〉を使用して、射程：近、対象：単体に酩酊 (小) を与える。1シーン4回。
協調行動中は () のデータになり、御刺・式式の〈ターゲットロック〉で対象を範囲 (選択) にできる。1シーンに3回まで。

さらに御刺・式式の〈バイタルアップ〉の効果で〈白兵〉の達成値+3。
手番では〈白兵〉〈元力：水雲 (正)〉〈不死の長き手〉で攻撃
隠牙を投射する。S+9 (11) +差
分値。
1点でもダメージが入れば酩酊 (大) を与える。
物理攻撃は〈回避〉〈空蟬〉でドッジを行う。成功するとAR+1。
肉体・精神ダメージは〈忠誠〉でカード1枚分軽減。与えられた肉体ダメージは〈パンザイ〉でクリンナップまで適用を遅らせる。
BS：酩酊の相手がいる場合、マイナーで〈必殺絶技〉を使用し、攻撃をリアクション不可にして攻撃する。3回まで。
〈ベイルアウト〉を組み合わせたことで、BSを無視して判定を行える。

■ オーウェン・マクラーレン

タタラ=タタラ○、エグゼク●

▼設定

「私の理想の礎となってもらおう。」

新皇帝都大学の工学部サイバネティクス科の主任教授。

全身義体化社会構想を唱え、全身義体による人類の進化を目指している。

そのためには手段を選ばず、イワサキの計画に協力している。当然、自身も全身義体を使用している。

▼神業

タイムリー□□ 買収■

▼能力値

理性：8 / 14 感情：3 / 8

生命：3 / 8 外界：10 / 14

CS：10 (AR：1)

▼防御力 (S/P/I)

8 / 7 / 11

▼技能

★射撃	2 ♠♥◇
★圧力	4 ♠♥◇
★信用	4 ♠♥◇
★自我	3 ♠♥◇
製作：サイバーウェア	4 ♠♥◇
※超スピード作業	2 ♠♥◇
※アドバイスⅡ	2 ♠♥◇
※加速装置	4 ♠♥◇
※アドバイス	2 ♠♥◇
※弱点看破	2 ♠♥◇
※機密情報	3 ♠♥◇
※コレクティブ	3 ♠♥◇
※アタッチメント	4 ♠♥◇

▼アウトフィット

・ボディリンカー.....隠：15/電：制
部位：義体装備時に物理攻撃の命中+2。
・阿修羅.....隠：-/電：15
アームユニットを4つ装備。

・外部装甲 (雑賀)

マイナーで〈射撃〉+1。
・クラッシュストーム.....隠：-/電：15
大型ショットガン。攻：1+8、射：近
・フェイタルゲイズ×2.....隠：-/電：15
レーザー砲。攻：X+10、射：近～速

▼リサーチプラン

報酬点は10点所持。
舞台裏から〈圧力〉〈機密情報〉〈コレクティブ〉〈※アタッチメント〉で社会戦を1度だけ行う。対象：4体。
社会D+5、1点でもダメージを与えたら治療するまで対象は報酬点を使えなくなる。
達成値は報酬点を使用して21以上にする。

▼戦闘プラン

セットアップで〈加速装置〉〈弱点看破〉を使用して射程：至近～超速、対象：シーン (選択) にCS+カードの数字、与える肉体・精神ダメージを+4する。
〈アドバイス〉で味方の達成値+4、AR消費。〈アドバイスⅡ〉を組み合わせたことで2回までARを消費しない。
手番では〈射撃〉〈製作：サイバーウェア〉で攻撃する。達成値+4。
クラッシュストームを使用するなら攻：1+8、射程：近、対象：範囲
フェイタルゲイズを使用するなら攻：X+10、射程：近～速、対象：単体

次ページに続く



御剣・式式

クロガネ=クロガネ=クロガネ●●

▼設定

「Yes、マスター」

イワサキが開発した次世代型のバディ制御搭載型義体。

ベースは御剣。なお、《万能道具》は《ファイト!》と同じ効果である。

《万能道具》のうち1つは凛の《不可知》に対して使用する。

▼神業

万能道具□□□

▼能力値

理性：9 / 15 感情：6 / 12

生命：6 / 12 外界：0 / 9

CS：13 (AR：1)

▼防御力 (S/P/I)

0 / 0 / 0

▼技能

★白兵 2 ♠ ♣ ♥ ◇

★回避 2 ♠ ♣ ♥ ◇

電脳 4 ♠ ♣ ♥ ◇

※フォーム：サイバーウェア 1 ♠ ♣ ♥ ◇

※バイタルアップ 3 ♠ ♣ ♥ ◇

※協調開始 4 ♠ ♣ ♥ ◇

※同調する器 3 ♠ ♣ ♥ ◇

※ドミネイター 4 ♠ ♣ ♥ ◇

※機能偽装 1 ♠ ♣ ♥ ◇

※ユニゾン 4 ♠ ♣ ♥ ◇

※ターゲットロックシステム 3 ♠ ♣ ♥ ◇

※離れ業 4 ♠ ♣ ♥ ◇

※魔技 3 ♠ ♣ ♥ ◇

※オーヴァーロード 4 ♠ ♣ ♥ ◇

※トライ&エラー 4 ♠ ♣ ♥ ◇

※リポート 3 ♠ ♣ ♥ ◇

▼アウトフィット

・生身 隠：-/電：15

御剣の修正済。P+5/3

・御剣 隠：13/電：15

防 (3 / 2 / 5)。CSベースに常に+2 (修正済)。本体。

・兵者 隠：10/電：制

物理攻撃のダメージ+2。

・疾考 隠：15/電：15

CSベース+3。

・壁心 隠：16/電：16

受ける精神ダメージ-4。

・真打ち 隠：12/電：-

協調行動の相棒が与える肉体D+2。

▼戦闘プラン

セットアップで《協調開始》《同調する器》で凛と協調行動を取る。

以降、凛の理性+3。さらに《バイタルアップ》で凛の《白兵》の達成

値+3。

協調行動中は手番が来たら《ユニゾン》を行う。

凛が対決に敗北した場合、《トライ&エラー》で判定に使用したカードを入れ替えることができる。1カット1回。

《電脳》《オーバーロード》でメジャー以外のあらゆる判定にリアクションできる。AR消費。《ドミネイター》を組み合わせることで1回だけARを消費せずに行える。

凛がいなくなった場合、《白兵》《魔技》《離れ業》で攻撃する。P+14、達成値+6、ダメージ軽減技能不可。

AR0のときにイニシアチブで《※リポート》の判定に成功すればAR1になり、BS：恐慌を受ける。1カット1回、1アクト3回。

イワサキ御庭番衆

カゲ6レベルトループ

▼設定

「御命頂戴!!」

イワサキが抱える一騎当千の忍者たち。(データ上の20人を1人として数える)

▼能力値

理性：9 / 10 感情：6 / 11

生命：8 / 10 外界：8 / 9

CS：6 (AR：1)

▼防御力 (S/P/I)

0 / 0 / 0

▼技能

★白兵 4 ♠ ♣ ♥ ◇

回避 2 ♠ ♣ ♥ ◇

※必殺絶技 3 ♠ ♣ ♥ ◇

※死の長き手 4 ♠ ♣ ♥ ◇

▼アウトフィット

・隠牙×2 隠：17/電：11

S+4/1、射：至近。射：近で投射可能。

5回まで投射しても失われない。

・閃鋼 隠：15/電：16

セットアップで使用してCS+6。

▼戦闘プラン

《白兵》《死の長き手》で攻撃。S+4+差分値。

対象がBS：酸蝕を受けているならマイナーで《必殺絶技》を使用してリアクション不可にする。

3回まで。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.018 『ArtificialBody Crisis』

発行日：2015.9.17

執筆（著作権者） ピーター
イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会
DTP まだら牛
素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： <http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>